

令和6年度 島田市立島田第二小学校 グランドデザイン  
 学校教育目標 『自ら学び 心豊かに生きる子』

<国・県の方針>  
 -第4期教育振興基本計画-  
 持続可能な社会の創り手の育成、ウェルビーイングの向上  
 ・よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る担い手、生きる力の育成  
 ・有徳の人づくり～誰一人取り残さない教育の実現～才を磨き自立を目指す。多様な生き方を認め徳を積む。社会に貢献する。

校訓

楽しい学校

子供一人一人に良き友、良き師があり、生きがいを感じさせる創造的な教育活動を実践し続ける学校

<島田市の教育方針>  
 夢育・知育、豊かな心、確かな学力、健康な体、確かな学力、特別支援教育の充実、子供主体となる授業「自分らしさが輝く授業」

主体性・自己肯定感・コミュニケーション能力(寛容性)



重点目標  
 「なりたい自分」をもって  
 自ら考え行動する

『なりたい自分』→85%以上  
 『自ら考え行動する』→「進んで」話す、挨拶する、仕事する各85%以上  
 よりよい方法を考える→85%以上 違いを受け入れる→85%

Plan(目標・計画)

三部・学年部・特別支援部

Do(実践)

学校・学年・学級

- なりたい自分を持ち、自分や友だちの良さに気づき、認め合っている。
- 一中マナー『時を守り、場を清め、礼を正す』心地よさを感じ取り、行動しようとしている。
- 目的意識を持ち、自分事として、考え進んで取り組む(主体性)を育成したい。
- 他者意識を持ち、互いの良さを認め合いながら関わる力を高めたい。



笑顔あふれる笑学校

<学校経営目標>

学校は、一人一人の子供が「自信をつけるところ」自信をもった子供の笑顔があふれる

- 1 全ての教育活動において、育成する資質・能力を明確にする
- 2 特別支援教育の充実を図る(個別最適な学びの実現、UDを意識した授業、寄り添う支援等)

心みがき

◎自分の良さがわかり、みがきつづける

学び深め

◎自ら考え、学びを調整する子

仲間づくり

◎仲間とのコミュニケーションの中で自己決定ができる子

- ★『なりたい学年』の姿の共有化  
学年集会等での振り返りと価値付け、自ら運営し、「相手意識」を持ち、自他を大切にしながら「みんなでよくなるう」とする。
- ★一中マナーの具現化  
時を守り…1分前着席  
場を清め…おそうじだいすき  
礼を正す…さんづけ、言葉遣い、挨拶
- ★統一指導事項の位置づけ
- ★いじめを許さない学年・学級づくり(年5回のアンケート、組織対応)
- ★SC,SSW,市教委との連携、ケース会議
- ≪成果指標≫  
・「時を守り場を清め礼を正す」85%  
・「ぽかぽか言葉を進んで使う」85%

- ★ねらいを明確にした単元デザイン
  - ①明確な単元のゴールの設定
  - ②学びを深めるための効果的な手立て
  - ③自分の学びがわかる振り返り
- ★『はじめに子供ありき』を大切に授業
- ★授業のUD(ユニバーサルデザイン)化
- ★考える聴き方、伝える話し方スキル向上
- ★家庭学習の充実(クロムブックの活用)
- ≪成果指標≫  
「授業がわかる、楽しい」85%以上  
「聴く話すマナーを意識している」85%  
「自分の考えを深めたりさらによいものにしてきたりしている」85%

- ★学年・学級会の充実  
なかまサイクル(S-PDCA-G)の習得・実践の場とする。
- ★キラキラカードの励行  
タイムリーな価値付け、互いに認め合い、自己肯定感を高める
- ★SSTの充実(問題の未然防止)
- ★学年帰り(朝)の会の実施  
二人の担任が学年を見ることでねらいを共有し、学年学級の自治的文化を育てる  
価値付けと共通理解の場
- ≪成果指標≫  
「自分のよいところが言える」85%  
「よりよくなるためにどうしたらよいか考えている」85%

特別支援教育の推進

★深い子供理解、個別最適な学びの実現、基礎的環境整備

<信頼される頼もしい教師>

～一人一人の子供に自信をつけさせる 子供の笑顔を引き出す～

- 子供のよさや可能性を引き出し、高め、自己肯定感を高める
- 『学年愛』を持ち、二人の学級担任で2つの学級(学年)を育てる
- 特別支援教育の充実、UD(ユニバーサルデザイン)を意識した授業及び学習環境
- 授業改善の推進(「学びの主体は子供」個別最適な学び、協働的な学び、ICT 効果的な活用)
- いじめを許さない、子どもに寄り添う生徒指導

Action(改善)

職員会議・三部会

Check(評価・分析)

学校評価アンケート  
 学年主任者会  
 なりたいシート  
 進捗状況確認・共通理解

安心・安全な環境づくり

持続可能な働き方の推進

地域・家庭との連携づくり